連載
みんなのSDGs

「地球温暖化」と「気候変動」の違いは？

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

地球全体の温度、つまり地面や空気（気温）、海水の温度が上がっていくことを「地球温暖化」といいます。一方「気候変動」は、気温や海水温だけでなく、雨の降り方なども含めた気候の変化のことを指しています。

今まで育っていた農作物がうまく育たなくなったり、過去の観測記録を上回る大雨などにより気象災害が起きたり、暑さがきびしくなって病院に運ばれる人がふえたり…。気候変動の影響は私たちのくらしの様々なところに現れるようになっています。

長い地球の歴史の中では、太陽の活動や隕石の衝突、火山の噴火など、自然が原因の気候の変化も多くありましたが、現在、人間の活動が原因で起きている気候変動は、進行が速く、影響も大きいことが問題になっています。

提供：国立環境研究所気候変動適応センター

※気象災害：大雨によって川があふれてしまったり、山が崩れて土砂がふもとにおしよせたり、海沿いでは高潮によって海の水が低い土地におしよせたりして、建物や道路など、人々が暮らすまちを大きく壊してしまうこと。人の命を奪ってしまうこともあるよ。

だってちゃんは、伊達市が千葉県白井市と友好交流協定を締結した際に贈られた、伊達市ゆかりのキャラクターです。

伊達市市民活動支援センターNEWS 2025春号

2025（令和7）年　4月 発行 vol.62
企画・編集
伊達市市民活動支援センター
〒960-0756
福島県伊達市梁川町青葉町1番地
伊達市役所梁川総合支所庁舎3階
TEL: 024-563-6970 FAX: 024-563-6971
E-mail: bz004492@date-civilsupport.jp
HP: http://www.date-civilsupport.jp/

市民活動 いろは 教えて！だってちゃん

Q. イベントの「後援」って何のこと？

A. 公共性の高い団体がイベントの主旨に賛同し、その開催を応援すること。

イベントのチラシなどに、主催に続いて「後援」と表記されていることがあります。「後援」は、主に公共機関やマスコミなど、公共性の高い団体がイベントの趣旨に賛同し、応援することを意味します。イベントの主催者は、後援を得ることにより、イベントに対する信頼が高まる、広報のバックアップが得られるといったメリットを期待することができます。

「後援」に似ている言葉に「協賛」と「協力」があります。実は、これらの言葉に明確な定義はなく、双方の関与の度合いに応じて、その時々の判断で使い分けられています。一般に、「協賛」はそのイベントに賛同し、金銭や物品等の支援をすることを指し、いわゆるスポンサーの立場を表します。他方「協力」は、人材や場所の提供など、イベントの実施に向けて特定の役割を受け持つことを指し、経済的な援助以外の支援を意味することが多いようです。

後援を得るためには、通常、一定の要件を満たしたうえで、後援申請の手続きをとる必要があります。伊達市および伊達市教育委員会の場合は（名義後援）、市内または近接する地域において開催され、市の施策の推進上有益であると認められること、非営利かつ政治的・宗教的に中立であることなどが要件とされています。

くわしくは伊達市HPで確認してください。

伊達市名義後援

Check！2025 あつまれだてな活動

伊達市初！ 市民活動イベント

“あつまれ「だてな活動」見る・知る・つながる”

イベント概要や参加状況・アンケートのまとめを掲載しています。

あつまれ2025

♡ 展示とブース出展で市民活動の「見える化」をはかる（1月16日～23日）♡

NPO法人、地域自治組織、その他市民活動団体など、計46団体から展示が出品されました。日替りのブースにも5団体が参加。累計100名弱の皆さんに観覧いただきました。福祉事業所販売会にも4団体が出店し、賑わいを見せました。

♡ 交流の場で互いを知る・つながるきっかけをつくる（1月23日）♡

市民活動に関わる34名の皆さんが参加。ひと言自己紹介で活動をPRした後は、自由歓談で交流をはかりました。初めての出会いもあれば、久々の出会いも。皆さんの活動のこれからが楽しみです。

交流会
ひと言自己紹介

力作が並んだ展示コーナー

福祉事業所販売会

ブースの様子

伊達市市民活動支援センター
〒960-0756　福島県伊達市梁川町青葉町1番地
伊達市役所梁川総合支所庁舎3階
月～金曜日(年末年始除く)　午前8時30分～午後5時15分
TEL: 024-563-6970　FAX: 024-563-6971
E-mail: bz004492@date-civilsupport.jp
HP: http://www.date-civilsupport.jp/

伊達市民活動センター

「伊達市市民活動支援センターNEWS」バックナンバーをご覧いただけます ↑↑↑

https://datesato.com/

だてな活動

伊達の里山文化を守る会

伊達市梁川町浅間下54

里山からつなぐ未来

伊達の里山に残る暮らしと文化を守り、次の世代へと繋げていきたい。思いの一致した地元の有志（農業者）4人が、2023（令和5）年に当会を発足させました。梁川町内の古民家を拠点に、農村の伝統的な生活のあり方を再発見し、共に学び、実践に移しています。

定期的な活動として、古民家の石蔵で開催する「蔵市」と「蔵フェス」があります。蔵市は毎月第3土曜日（5月より第1・3日曜日の予定）の開催。伊達市内とその周辺で農業に従事する方たちが、新鮮な地元野菜を出品しています。お客さんは、歩いて来る近所の方から、伊達市内、伊達郡、福島市などから訪れる方まで幅広く、子ども連れの家族、高齢者と年代も様々です。毎年文化の日に開催する蔵フェスは、地域の食や文化を楽しむイベント。新鮮な野菜や加工品、料理や雑貨、工芸品など、素敵なお店が一堂に会して賑わいを見せています。

2023年11月
蔵フェス

土地への愛着が人を呼ぶ

今年は、古民家の納屋をワークショップ方式で修復する計画です。建物の地域性を保存・回復させるためにも、壁土や竹、藁など、地元で調達できる材料を用い、在来工法にこだわってリフォームします。地域に根差した住まいのあり方に学ぶ貴重な機会です。いずれ母屋にも手を入れて、地域に関わる様々な人が集う場にしたいと考えています。

住まう人が、住まう地域に愛着を持ってこそ、そこに関わる人も増えていくのだと思います。移住や就農に繋がっていくことも期待しています。

（080-1803-3349 國分）

蔵市
毎月第3土曜日開催

だてな活動

特定非営利活動法人 日本大同館連盟

伊達市長岡７番地１

福島県スポーツチャンバラ協会

私たちの法人は、福島県スポーツチャンバラ協会を運営しています。協会は、県本部を伊達市に、支部を福島市、郡山市、いわき市、相馬市に置き、各教室・道場での稽古の他、指導者養成や審判講習、昇級昇段審査、技術指導などを行っています。県・支部で選手権大会を開催したり、全日本大会にも出場します。県内の競技人口は約400人ですが、毎年全国大会で3位以内の入賞者を出すなど優れた選手を輩出しています。

明き、直き、浄き、建き

私たちの法人は、日本の武道を通じた青少年の健全育成を目的としています。スポーツチャンバラ協会は、“スポーツ”を冠していますが、武道とスポーツは、共に人間形成という理想を掲げていますが、それを達成する過程において異なっています。歴史や伝統に学ぶ姿勢を基本に、礼節や道徳を重んじ、修業を通じて自己の心身を鍛えるのが武道。私たちの本分は、明（あか）き、直（なお）き、浄（きよ）き、建（たけ）き、誠の人間形成に努めることであり、それが福島県の復興はもとより、日本の将来を支えることに繋がると考えています。

2024年4月

指導者養成・審判講習・昇級昇段審査・技術指導事業

協会県本部の稽古場所である伊達体育館では、毎週金曜日（午後7～9時）、20歳代から80歳以上の方方まで幅広い年代の皆さんが稽古に励んでいます。用具等はお貸しできます。一緒に心と体を鍛えましょう。（090-3983-7271 堀田）

福島県スポーツチャンバラ協会（伊達接骨院内）

だて健幸脳トレクラブ

伊達市伊達/保原町

QRコードから支援センターHP内の紹介ページにアクセスできます。

だてな活動

“楽”習のお手伝い

「だて健幸脳トレクラブ」は、くもん学習療法センターの教材で“楽”習する（“楽しく”学ぶ）教室を市内で開催する任意団体です。認知症にはなりたくない。私たち自身がそう考え、我がごととして取り組むことが活動の原動力になっています。

教室で使用する教材は、東北大学 川島隆太先生（加齢医学研究所 応用脳科学研究分野 教授）の脳科学研究から開発された脳の健康維持法がもとになっています。私たちメンバーの役割は、教室に参加する皆さんのサポーター（お手伝い、無償ボランティア）。

2024年
教室の様子

2007（平成19）年から2020（令和2）年まで実施されていた伊達市の事業「脳の健幸教室」でサポーターを務めた顔ぶれが核になっています。市が主催する教室の終了を機に、継続を希望する教室参加者の皆さんの声を受けて、任意団体として活動を続けることにして今に至っています。

読み書き・計算・数字盤とおしゃべり

現在、8名のサポーターが保原町（毎週火曜日）と伊達町（同水曜日）で教室を開いています。教室では、読み書きや計算、数字盤を使ったゲームなど、認知症を予防する実践的な内容を“楽”習します。参加者の皆さんは “楽”習の後のおしゃべりタイムも楽しみに来られる様子で、良いコミュニケーションの場になっていると思います。

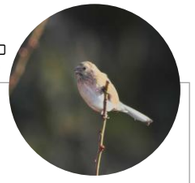
認知症予防の講話・体験セミナー（くもん学習療法センター）も無料で開催しています。お問い合わせください。（090-4538-7440 齋藤）

2024年
教室の様子

だてな活動

茶臼山野鳥の会

伊達市霊山町掛田


ベニマシコ（茶臼山）

茶臼山野鳥の森プロジェクト

私たちの会は、2025（令和7）年2月に正式に発足したばかりです。きっかけは、掛田自治協議会（霊山町）の地域づくり部会に日本野鳥の会に所属するメンバーがいたこと。「茶臼山周辺には、福島市小鳥の森に匹敵する野鳥が集まっています」。何気ないその一言に、一同、目を開かされる思いがしました。茶臼山をなんとかしたい、という声はこれまでも多くあがっていましたが、どのように整備するかは漠然としていたからです。これからの方向性が見えてきた瞬間でした。これを機に、掛田の新しい魅力作りを推進するため、シンボルである茶臼山を野鳥の森にしよう！というプロジェクトが始まったのです。

2025年3月
巣箱取り付け

野鳥を地元の魅力に

昨年11月に、掛田小学校の3年生を対象とする野鳥講座を行いました。身近な野鳥を中心に、鳴き声を聞いてもらったり、シルエットクイズをしたり。子どもたちの反応はなかなか良く、知られざる地元の魅力を伝えることができました。今年2月には、茶臼山での探鳥会も実施しています。参加した17名は、茶臼山の中腹までと、小国川沿いを双眼鏡を手に歩き、ウォッチングに勤しみました。

地域の魅力の“たね”は、意外と身近なところにある。地元の野鳥の存在に目を向けたことで、大切な気づきを得ることができました。

（090-1935-4181 丹治）

2025年2月
探鳥会

月舘町布川一番組
・人口：138人
・世帯数：56世帯
（2025年2月末現在）

布ーサロン

伊達市月舘町布川字新屋敷33
布川一番組公民館

だてな活動

町内会丸ごとサロン

布ーサロンは、布川（大字）一番組の住民が親睦をはかる交流の場です。組の総会でサロンの設立が提案、可決されたことを受け、2017（平成29）年に発足しました。毎月第2土曜日が活動日。「布ーサロンだより」の回覧で告知して、健康や防犯・安全について学んだり、お話会や季節のイベント、日帰り旅行などで楽しんでいます。現在、一番組56世帯中、38世帯が参加。67人が登録しています。

サロンには、女性や高齢者の場というイメージもあるようですが、地域には男性も若年世代も住んでいます。私たちは、発足当初から、老若男女問わず誰でも参加できる場にしたいと考え活動してきました。世帯単位で会費を募るのも工夫の一つ。一軒の家から複数人、多世代で参加しても会費は変わらない＝たくさん参加した方がお得になる仕組みになっています。

2024年9月
心肺蘇生と救急法講座

みんなでやっぺ

子どもから高齢者まで、誰にでも幅広く喜ばれる活動はなかなか難しいもの。月ごとにメリハリをつけるよう心がけている他、役員以外からも意見を募り、計画に生かすようにしています。役員の男女比もポイントかもしれません。どちらかに偏らないように分担することで、誰もが関わりやすい体制になっています。

組の中で、これまでなかった人の触れ合いが生まれるようになり、サロンが布ーに浸透したと感じています。資金や参加者の交通の便の問題など、悩みは多いですが、内容のブラッシュアップをはかり、まだ参加していない人にも足を運んでもらえるようにしていきたいです。

（024-572-2622 加藤）

2024年12月
クリスマス会